

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】令和5年12月6日(2023.12.6)

【公開番号】特開2023-123833(P2023-123833A)

【公開日】令和5年9月5日(2023.9.5)

【年通号数】公開公報(特許)2023-167

【出願番号】特願2023-111398(P2023-111398)

【国際特許分類】

A 2 4 F 4 0 / 5 7 ( 2 0 2 0 . 0 1 )

10

A 2 4 F 4 0 / 4 6 5 ( 2 0 2 0 . 0 1 )

A 2 4 F 4 0 / 2 0 ( 2 0 2 0 . 0 1 )

A 2 4 F 4 0 / 4 0 ( 2 0 2 0 . 0 1 )

A 2 4 F 4 0 / 4 2 ( 2 0 2 0 . 0 1 )

【 F I 】

A 2 4 F 4 0 / 5 7

A 2 4 F 4 0 / 4 6 5

A 2 4 F 4 0 / 2 0

A 2 4 F 4 0 / 4 0

A 2 4 F 4 0 / 4 2

20

【手続補正書】

【提出日】令和5年11月28日(2023.11.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

30

エアロゾル発生システムであって、

エアロゾル発生装置(100)であって、

ハウジング(110)と、

加熱ゾーンを画定する加熱チャンバー(120)であって、前記加熱チャンバー(120)が、エアロゾル形成基体の少なくとも一部分を前記加熱ゾーン内に受けるようなサイズである、加熱チャンバー(120)と、

前記加熱ゾーンの周りに配置された誘導要素(130)と、

電源と、

一つ以上の外部サセプタ素子と、

前記誘導要素(130)に接続され、かつ交流電流を前記誘導要素(130)に提供して前記加熱ゾーン内に交番磁界を生成するように構成されたコントローラと、を有する、エアロゾル発生装置(100)を備え、

ここにおいて、前記誘導要素(130)は、第一の周波数を有する第一の交番磁界を第一の期間提供した後、第二の周波数を有する第二の交番磁界を第二の期間逐次的に提供するように制御され、

誘導要素が、前記第一の交番磁界および前記第二の交番磁界の両方を提供するように構成された単一コイルである、

エアロゾル発生システム。

【請求項2】

使用時に、前記第一の交番磁界が前記加熱ゾーン内に位置する第一のサセプタ(180)

50

）の優先的な加熱を引き起こし、前記第二の交番磁界が前記加熱ゾーン内に位置する第二のサセプタ（180）の優先的な加熱を引き起こす、請求項1に記載のエアロゾル発生システム。

【請求項3】

前記第一の期間の間は、前記第一のサセプタ（180）が前記第二のサセプタ（180）よりも高い温度に加熱され、前記第二の期間の間は、前記第二のサセプタ（180）が前記第一のサセプタ（180）よりも高い温度に加熱される、または、前記第一の期間の間は、前記第二のサセプタ（180）が前記第一のサセプタ（180）よりも高い温度に加熱され、前記第二の期間の間は、前記第一のサセプタ（180）が前記第二のサセプタ（180）よりも高い温度に加熱される、請求項2に記載のエアロゾル発生システム。

10

【請求項4】

前記誘導要素（130）が、三つ以上の異なる交番磁界を三つ以上の別個の期間提供するように制御され得、前記三つ以上の交番磁界のそれぞれが異なる周波数を有する、請求項1～3のいずれか一項に記載のエアロゾル発生システム。

【請求項5】

エアロゾル発生装置（100）が、前記第一のサセプタ（180）および前記第二のサセプタ（180）を含む、請求項2に記載のエアロゾル発生システム。

【請求項6】

前記エアロゾル発生装置（100）が、前記チャンバー（120）内に突出する複数の細長いサセプタ素子を含み、前記複数の細長いサセプタ素子が、前記チャンバー（120）の長軸方向に延び、かつ互いに間隙を介しており、前記複数の細長いサセプタ素子が、少なくとも前記第一のサセプタ（180）および前記第二のサセプタ（180）を含む、請求項5に記載のエアロゾル発生システム。

20

【請求項7】

前記複数の細長いサセプタ素子が実質的に互いに平行である、請求項6に記載のエアロゾル発生システム。

【請求項8】

前記第一および第二のサセプタ素子（180）、または前記複数の細長いサセプタ素子のそれぞれが、前記エアロゾル発生装置（100）に取り外し可能に取り付けられる、請求項5～7のいずれか一項に記載のエアロゾル発生システム。

30

【請求項9】

前記第一および第二のサセプタ素子（180）、または前記複数の細長いサセプタ素子と、前記エアロゾル発生装置（100）の前記ハウジング（110）に取り外し可能に取り付けられるように構成された基部部分（170）と、を備え、前記第一および第二のサセプタ素子、または前記複数の細長いサセプタ素子が、前記基部部分（170）が前記ハウジング（110）に取り外し可能に結合された時に前記第一および第二のサセプタ素子、または前記複数の細長いサセプタ素子が前記加熱チャンバー（120）内に突出するように、前記基部部分（170）に取り付けられる、請求項8に記載のエアロゾル発生システム。

【請求項10】

エアロゾル発生物品（10）をさらに備え、前記エアロゾル発生部品（10）が、前記エアロゾル形成基体を含み、かつエアロゾル形成基体の少なくとも一部分が前記加熱ゾーン内にあるように、前記加熱チャンバー（120）によって受けられるような寸法である、請求項1に記載のエアロゾル発生システム。

40

【請求項11】

前記第一のサセプタ（180）が第一の形状、第一の断面、第一の長さ寸法、第一の幅寸法、および第一の厚さ寸法を有し、前記第二のサセプタ（180）が、第二の形状、第二の断面、第二の長さ寸法、第二の幅寸法、および第二の厚さ寸法を有し、前記第一および第二の形状、第一および第二の断面、第一および第二の長さ寸法、第一および第二の幅寸法、および第一および第二の厚さ寸法のうちの少なくとも一つが異なる、請求項2～9

50

のいずれか一項に記載のエアロゾル発生システム。

【請求項 1 2】

前記第一のサセプタ(180)が第一の材料から形成され、前記第二のサセプタ(180)が第二の材料から形成され、前記第一の材料が前記第二の材料とは異なる一つ以上の材料特性を有し、前記一つ以上の特性が、前記材料の比抵抗および前記材料の透磁率を含む、請求項 2～9 または 11 のいずれか一項に記載のエアロゾル発生システム。

【請求項 1 3】

請求項 1～12 のいずれか一項に定義されたエアロゾル発生システムを使用する方法であって、前記方法が、

エアロゾル形成基体の少なくとも一部分が前記加熱ゾーン内に位置するように、前記エアロゾル発生物品を前記エアロゾル発生装置(100)の前記加熱チャンバー(120)内に挿入するステップと、

前記誘導要素(130)を作動させて第一の周波数を有する第一の交番磁界を第一の期間提供し、それによって前記加熱ゾーン内に位置する第一のサセプタ(180)を前記第一の期間優先的に加熱するステップと、

前記誘導要素(130)を作動させて第二の周波数を有する第二の交番磁界を第二の期間提供し、それによって前記加熱ゾーン内に位置する第二のサセプタ(180)を前記第二の期間優先的に加熱するステップと、を含み、

前記エアロゾル形成基体の第一の部分が、前記第一のサセプタ(180)によって前記第一の期間の間加熱され、前記エアロゾル形成基体の第二の部分が、前記第二のサセプタ(180)によって前記第二の期間の間加熱される、方法。

10

20

30

40

50